

県内有数の産地！

サトイモ収穫スタート！

【11月下旬に刈谷市内で収穫風景をご紹介します】

J Aあいち中央さといも部会（部会長：石川明成）では、11月中旬から刈谷市北部の西境地区を中心にサトイモの収穫がはじまります。部会では、子芋と孫芋がくっついた状態で「刈谷の里芋」として出荷し、他産地と差別化しています。芋と芋の接着面は手作業で土を落とさなければならないため手間はかかりますが、ユニークな形状と切断面が少なく、新鮮さが保てることが評価されています。



子芋と孫芋がくっついた状態で出荷します



一つずつ手作業で掘り起こします

学校給食にサトイモを使ったメニューも登場！

2014年からは刈谷市内の幼稚園、小・中学校の給食用にサトイモを提供しています。11月中旬から1月下旬までの間、5回にわたりサトイモを使った給食メニューが提供されます。「サトイモのサラダ」や「筑前煮」など様々なメニューで提供されます。

J Aあいち中央さといも部会

- 部 会 員：13人
 - 栽培面積：約60アール
 - 出荷時期：11月下旬から2月上旬まで
 - 出 荷 量：約4トン
 - 流 通 先：中京市場を通じてユニ一(株)系列で販売
- <今年産の生育状況>

今年は豪雨による湿害や9月までの長引いた酷暑により、生育への影響が心配されましたが、大きな影響もなく、順調に生育しました。



一つ一つ丁寧に土を落として子芋・孫芋に分けていきます

<メディア対応日>

■日 時：2023年11月下旬

■集合場所：J Aあいち中央刈谷北部支店（刈谷市東境町神田36-1）

※取材当日は、サトイモ圃場（車で約10分）で収穫の様子を、生産者作業場（車で約10分）で出荷準備を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp